事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表(公表)

公表: 平成 31 年 1月 17 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」小倉到津校

| | | チェック項目 | はい | どちらともい えない | いいえ | 改善目標、工夫している点など |
|------|-------------|---|----|---------------|-----|---|
| 環境 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 0 | | | |
| 体 | 2 | 職員の配置数は適切であるか | 0 | | | |
| 制整備 | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が 適切になされているか | 0 | | | ・活動場所ごとに事業所内を棚で区切り、活動しやすい環境を整えている。 |
| | 4 | 業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標 設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか | 0 | | | ・定期的に話し合いの機会を設け、より良い支援 検討している。 |
| 業 | (5) | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、 業務改善につなげているか | 0 | | | |
| 務改善 | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームペ ージ等で公開しているか | | 0 | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務 改善につなげているか | | | 0 | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確 保しているか | 0 | | | ・定期的に研修の機会を設け、より良い支援を 日々学んでいます。 |
| | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズ や課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサ ービス計画を作成しているか | 0 | | | |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化さ れたアセスメントツールを使用しているか | | | 0 | ・相談時の受付シートや体験などを通じてアセスメ ント等を行っている。 |
| 適 | 11) | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | 0 | | | |
| 切 | 12) | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | 0 | | | |
| な支 | (13) | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | | 0 | | |
| 援の提供 | 14) | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適 宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成 しているか | 0 | | | ・保護者の方とその日の様子や活動内容、自宅での様子等、日々情報共有を行い、計画作成を行っています。 |
| 供 | (15) | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日 行われる支援の内容や役割分担について確認して いるか | | 0 | | ・事前に予定の確認は行っているが、十分ではない。前日に確認作業を行えるよう検討を行う。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その 日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等 を共有しているか | 0 | | | ・その日の様子や変わったこと、周知しなければなら ないことの共有を行っている。 |

| | 17) | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底 し、支援の検証・改善につなげているか | | 0 | | ・記録について様子や行った内容等は記録しているが、追い付いていない部分もあるため、改善の検討を行っている。 |
|--------|-----|--|---|---|---|---|
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービ ス計画の見直しの必要性を判断しているか | 0 | | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っているか | | 0 | | |
| | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参 画しているか | 0 | | | |
| 関係機関 | 21) | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整 (送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか | 0 | | | |
| や 保 | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、 子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | 0 | | ・医療ケアの必要な利用者なし。 |
| 護者と | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こど も園、児童発達支援事業所等との間で情報共有 と相互理解に努めているか | | | 0 | |
| の連携関 | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から 障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それ までの支援内容等の情報を提供する等しているか | | 0 | | ・現在、支援内容等の情報共有は行えていない。 必要に応じて対応を行っていく。 |
| 係機関 | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | | 0 | | |
| や 保 | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | | 0 | |
| 護者と | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | | | 0 | |
| の連携 | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解を持ってい るか | 0 | | | ・日頃から送迎時や連絡帳などで、保護者の方と 情報交換や相談を行っている。 |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者 に対してペアレント・トレーニング等の支援を行ってい るか | | | 0 | |
| 保護者への | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について 丁寧な説明を行っているか | 0 | | | |
| | 31) | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適 切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 0 | | | |

| 説明責任等 | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 0 | | | ・ママカフェを実施している。 |
|-------|-----|---|---|---|---|--|
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 0 | | | |
| | 34) | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して 発信しているか | | 0 | | ・会報は発行していないが、ブログでの活動内容の 発信や事前に活動行事予定のプリントを配布して いる。 |
| | 35) | 個人情報に十分注意しているか | 0 | | | |
| | 36 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報 伝達のための配慮をしているか | 0 | | | |
| | 37) | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | 0 | ・現状、地域住民の招待などはできていないが、今後企画を検討していく。 |
| | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対 応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知してい るか | 0 | | | |
| 非 | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出そ の他必要な訓練を行っているか | 0 | | | |
| 常時 | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する 等、適切な対応をしているか | 0 | | | |
| 等の対応 | 41) | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | 0 | | ・必要に応じて行っていく。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示 書に基づく対応がされているか | | 0 | | ・必要に応じて行っていく。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有して いるか | 0 | | | |

保護者等向け放課後等デイサービス評価の集計結果(公表)

公表: 平成 31年 1月 17日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」小倉到津校 保護者等数(児童数)18 人 回収数 13 枚 割合 70 %

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえ ない | いいえ | ご意見、ご意見を踏まえた対応 |
|-------------|-----|--|----|---------------|-----|-------------------------------|
| 環境 | 1 | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている か | 0 | | | |
| 体 | 2 | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 0 | | | |
| 制整備 | 3 | 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバ リアフリー化の配慮が適切になされているか | 0 | | | |
| 適切な | 4 | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 [†] が作成されているか | 0 | | | |
| 支援 | (5) | 活動プログラム が固定化しないよう工夫されている か | 0 | | | |
| の 提 供 | 6 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | | 0 | | |
| | 7 | 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明 がなされたか | 0 | | | |
| | 8 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ども の発達の状況や課題について共通理解ができてい るか | 0 | | | |
| | 9 | 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 0 | | | ・普段の生活面などの相談をする機会がもっとあってほしい。 |
| 保護者 | 10 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援されている か | 0 | | | ・開催される 1 ヶ月ほど前にお知らせ頂けると助かります。 |
| への説明等 | 11) | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、 苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 0 | | | |
| | 12) | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため の配慮がなされているか | 0 | | | |
| | 13 | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか | 0 | | | |
| | 14) | 個人情報に十分注意しているか | 0 | | | |

| 非常時 | 15 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対 応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されて いるか | 0 | | |
|--------|-----|---|---|--|--|
| 等の対応 | 16 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 0 | | |
| 満 | 17) | 子どもは通所を楽しみにしているか | 0 | | |
| 足 度 | 18 | 事業所の支援に満足しているか | 0 | | |

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。